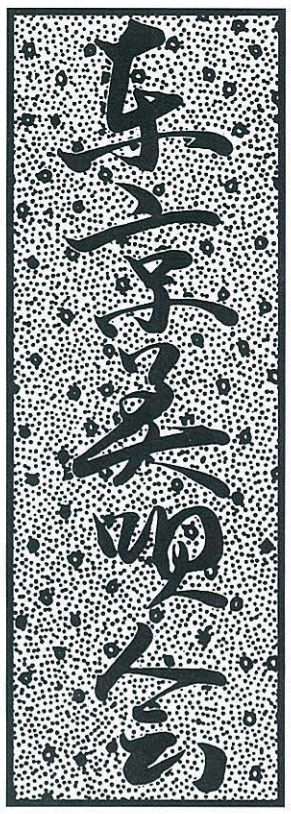

## 富士山道

撮影時期　平成15年12月
撮影場所　富士演習場
撮影者　フォト芙蓉峰会長
東京美唄会副会長
高橋　義夫

第35号
◆発行所◆ 東京美唄会
◆事務局◆ 〒230-0077
横浜市鶴見区
東寺尾4-19-17
飯尾　敦方
◆発行責任者◆
太田好彦

社会福祉法人
東京コロニー
コロニー東村山印刷所
Tel (042) 394-1113(直通)
Fax (042) 394-1052
プラニング・デザイン
DTP・オフセット印刷

## 年頭のご挨拶

東京美唄会会長
太田好彦

東京美唄会の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども明るい希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また、会員の皆様には、日頃から本会の活動に格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は郵政民営化問題を巡って大きく政局が動きましたが、総選挙の結果は、大方の予想とは違って小泉首相率いる与党の圧勝に終り、郵政民営化に反対する勢力や野党は予想外の敗北を喫することとなりました。この結果、郵政民営化は固より、小さな政府を指向する小泉改革は勢い付くものと思われますが、圧勝に慢心することなく、克く国民の合意を形成しながら改革を進めて欲しいものです。

又、中国や韓国、ロシア・北朝鮮と近隣諸国との外交問題も対応を誤ると我国の国益と安全を大きく損うことにもなり兼ねません。慎重に効果的な外交を進めることにより良好な国際関係が構築されることを願い度いものです。

一方、世界中には充分な食料がなく飢えに苦しんでいる人々が未だ数多くいますし、地震や津波、洪水といった自然災害に会い復旧も侭ならぬ状況の中で苦労している人達、中近東やアフリカ、ロシアの一部等民族問題の軋轢などで血腥い抗争の中におかれている人達がいることも忘れてはならないと思います。

幸い我国の景気は昨年末若干上向きつつあるやに思われます。

郷里美唄市も厳しい財政事情や、三位一体の改革等厳しい行政改革の流れの中で、より住みよい活性化した街づくりに市長以下、市民一体となって頑張っておられ、心から敬意を表し度いと思います。

最后になりましたが、新しい年が郷里美唄市にとって、又東京美唄会の皆様にとって、よき年でありますよう心から祈念申し上げて新年の御挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

美唄市長
桜井道夫

新年明けましておめでとうございます。

東京美唄会会員の皆様には清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

早いもので、私が平成16年9月、美唄市長に就任しましてから、1年余りが経過しました。

私は、市長に就任して以来、ふるさと美唄の自立に向けて、温泉施設「ピパの湯　ゆ～りん館」を拠点に、「宮島沼」、「アルテピアッツァ美唄」、「東明公園」といった地域の財産を活かしつつ、交流促進のための基盤づくりを進めてまいりました。

昨年は、5月にパークゴルフ場がオープンし3万人を超えるお客様にご利用いただきました。

また、「美唄焼き鳥」VS「室蘭焼きとり」と銘打った物産展を開催し、テレビや新聞をはじめとする多くのメディアに取り上げていただき、ふるさとの味であります「焼き鳥」を通じて美唄を広くアピールすることができました。

私は、市民の皆さんが、経済活動や市民生活など様々な分野で、人と人との交流の輪を広げ、生き生きとした生活を実現することにより、まち全体に活力が生まれるものと考えております。そのためには、個々の取り組みを、点から線へ、さらには面へと相互に結びつけることにより、地域の総合力として着実にまちの活力となるよう、一層の努力が必要であると感じております。

時代の大きな潮流の中で、国では「官から民へ」「国から地方へ」という方針のもとに構造改革が進められ、地方を取り巻く環境は、地方分権をはじめ、三位一体改革や規制緩和など、大きな転換期を迎えている中で、ふるさと美唄は人口の減少や景気の低迷、国の三位一体改革のひとつである地方交付税改革などにより、非常に厳しい財政状況に追い込まれています。

これからの美唄のまちづくりを思うとき、私に課せられた責任の重さを痛感いたしますとともに、直面している市政の重要課題に対する私の役割の大きさに身が引き締まる思いでございます。

幸い、美唄にはすばらしい財産があります。これらの財産を、美唄観光の拠点施設である「ピパの湯　ゆ～りん館」を核に、交流のまちづくりを進めて経済振興に結び付けていくことが、本市が自立していくための大きな鍵となります。

私は、美唄市民の皆さんが、美唄に暮らすことに喜びを実感できるよう、美唄の自立と活力づくりに向け、誠実に、そして信念を持って取り組んでまいりたいと考えております。

同時に、美唄を故郷として愛してくださっている方々から寄せられる「ふるさとを思う心」を裏切ることのないように、全力を傾けてまいりますので、東京美唄会の皆様におかれましても、今後ともこれまで以上にご支援を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

終わりになりますが、東京美唄会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 年会費納入のお願い
### （総会に欠席される方へ）

会員の皆様にはいつもご協力を頂きありがとうございます。

東京美唄会総会にご欠席される方のみ、同封の振込用紙で会費（2,000円）を送金されますようお願い申し上げます。

（総会に出席される方からは会場受付で頂きますので、ご送金は不要です）

○郵便局振り込み口座番号
0170-2-367030
東京美唄会

## 第22回東京美唄会総会・懇親会ご案内

日　時：平成18年２月25日(土)　午後１時～４時

会　場：中野サンプラザ　コスモルーム（13Ｆ）

住　所：東京都中野区中野４－１－１　TEL 03-3388-1166（宿泊も可）
JR中央線、地下鉄東西線中野駅から徒歩２分

会　費：10,000円（内訳・当日会費8,000円＋年会費2,000円）

出欠のご返信：ハガキは２月10日(金)までに 必着でお願いいたします。

皆様方お誘いの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

# 第21回 懇親会・人ひと

市長を囲んで

観光物産協会・商工会議所の方々

飯尾事務局長（右）

奈良栄子さん
熱　唱

## 第二十一回美唄会の回想

司会　小田中　昭雄

歳月人を待たずとか、光陰矢の如し等、申されて居りますが、最近は、加齢のせいか、月日の流れの余りにも早きを痛感している昨今でございます。

美唄会も東京事務所を失い戸迷いましたが、そこは道産児、否、美唄児の根性で何とか二十一回の総会を無事終了することが出来ました。これも偏に会員の皆さま方、お一人、お一人のご協力の賜でございまして、私共、世話人一同、心より感謝申し上げている次第でございます。

幸、当日は好天に恵まれ本当にラッキーでございました。総会は、飯尾事務局長の進行でスムーズに運び、引続き、懇親会となったのでございます。

何しろ、昨年迄は、ベテランの渡邊和子さまの司会でございました。今年は急に、小田中に任すという指示でした。至って小生は不馴れでありましたが、精一ぱい頑張りました。皆さま方の暖かいご支援を頂きまして、何とかその任を果たさせて頂きました。謹しんでお礼を申し上げます。

懇親会は、新市長になられました桜井道夫さまの力強いご挨拶に始まり、続いて市議会議長、中西勇夫さまのこれ又、素晴らしい―乾盃のご発声で幕が切って落されたのでございます。

暫時、お酒と、お料理を召上って頂くうちに、会場のムードは、弥が上にも、懇親そのものとなったのでございます。

さて、一息ついたところで、鴻の台出身でありますビクターレコードの歌手、奈良栄子さんの演歌で会場は、益々、そのムードを一段と和やかにして下さいました。引続き、飛入りが何組もございましたが、皆さん、カラオケに合わせて、それはそれは熱唱でございました。道産児出身のプロは大勢いらっしゃいますが、皆さんが、とても美声の持主でございました。

私達は、それぞれ志を抱いて故郷美唄を後に致しました。

皆さんは、常に、道産児の誇りを心に抱き、何事にも真剣に取組んでこられたと存じます。都会は、必ずしも甘くはございませんが、それに屈することなく、飽く迄も忍耐強く、ど根性を持って、あらゆる困難をも克服なされて今日あるものと存じ上げます。私達は今ある自身に感謝すると同時に、明日に向って決意を新たにするものであります。

会場のテーブルの右も左も美唄児でございます。すぐさま話に花が咲く親しい間柄でございます。皆さんが仲間なのです。今年も昨年に倍してのご来会を衷心よりお待ち申し上げて居ります。

兎に角、ご参加下さい！皆さま方のご協力を懇願申し上げ、拙い回想の文とさせて頂きます。有難うございました。

## 会員通信

返信ハガキ通信欄に多くの方々がそれぞれの思いを述べておられますが、全部は載せることが出来ませんでした。ご諒承ください。

**浅田　直芳**
残念ですが今回は所用あり出席できません。昨年は4回美唄に4回帰省し、ゆーリン館にも宿泊しました。ふるさと美唄市の益々の発展を祈ります。

**浅野　水重**
主人浅野和登平成9年会社の事故で他界いたしました。美唄で生まれ高校も美唄です。とても美唄の町を気に入っていました。

**阿部　四郎**
年を重ねるごとに知人も少なくなりさびしい限りです。ふるさと訪問の企画などしてみては如何ですか？役員のご苦労大変でしょうがね。

**生駒　孝雄**
まだまだ元気で頑張っています。皆様とお逢いするのを楽しみにして居ます。

**大山　智**
現在自宅療養中にて欠席させていただきます。

**大脇　英世**
毎年3、4回帰っていますが国道12号線の4車線の距離が着実に伸びており便利になったと感じております。
人口がマイナスに向かっているのは淋しく感じることの一つです。が美唄はきれいなよい所です。

**落合　漾子**
よろしくお願い致します。

**小野寺　美智子**
昨年は体調不良で出席出来ず残念。好きなフォークダンスを踊っています。いつもの仲間皆様にお逢いしますこと、とても楽しみにしております。

**門野坂　泰**
新市長・桜井道夫氏を迎えて、新しい美唄にエールを送ります。（我想吃松花江佼子）

**金刺　光敏**
皆様方とお会いすること楽しみにしております。

**川口　勝義**
昨年5月8～13日美唄東高7期同期会と7月4～8日第38回美羽会（美唄東高バドミントン部OB会）をいずれもピパの湯ゆーりん館で楽しみそのあと同期会ゴルフを楽しんできました。
今年も美羽会は7月16日予定しており同期会も予定しています。

**川田　康雄**
丸の内に8年勤務、八王子に8年勤務、10年前に札幌に帰りました。札幌市立中央中学校で野球部のコーチをしております。

**菅野　智慧輝・ツヤ子**
大野ツヤ子平成17年1月21日菅野智慧輝に入籍致しました。

**北村　節子**
会報いつも楽しくて又、ふる里の目を見張る様な発展を頼もしく嬉しく拝見させていただいております。生憎都合により出席できませんが

創造性あふれる起業家の皆さんへ

**美唄市チャレンジサポートオフィス入居のご案内**

目的

本市の産業振興を推進するため、美唄ハイテクセンタービル内のチャレンジサポートオフィスを提供し、創造性あふれる多様な能力を有している起業家の皆さんを支援します。

施設概要

| | |
|---|---|
| 名　称 | 美唄ハイテクセンタービル（そらち団地内） |
| 所在地 | 美唄市茶志内町３区 |
| 構　造 | RC造、３階建て |
| 部屋面積 | 2階の一室　1ブース21㎡×4ブース |
| 駐車場 | 60台収容 |

問い合せ先：美唄市経済部産業振興課（〒072-8660 美唄市西３条南１丁目1-1）
TEL 0126-62-3131　FAX 0126-66-7876
E-mail:sangyou@mail.city.bibai.hokkaido.jp

貴会の発展と皆様のご健勝を心よりお祈りさせていただきます。

**九島　八枝子**
息子夫婦、孫達とお蔭様で元気に過ごして居ります。

**工藤　千恵子・義明**
体調悪く出席できません。福庄さん美唄よりいらっしゃるとの事宜しくお伝えください。

**小森　智恵子**
よろしくお願いします。

**近藤　晃**
東明中学校卒業。美工土木課卒業、33年卒10期生。

**近藤　金満**
お蔭様で元気で暮らしております。

**斉藤　文男**
皆様方お元気で毎日を大切に過ごしましょう。東京美唄会の発展を祈ります。

**笹　スエ**
2月趣味の行事と重なり出席できません。但野さんがお元気になりましたらご一緒にと思っております。

**佐藤　公彦**
事務局の皆様ご苦労様でございます。楽しみにしております。

**佐藤　康行・広枝**
久し振りに参加させていただきます。何とぞ宜しくお願い致します。

**佐藤　司**
皆に逢えるのを楽しみにして居りましたがどうしても外せない用事が出来まして残念ですが欠席させていただきます。

**佐藤　忠嗣**
再会たのしみにしてます。

**佐藤　徳一・房江**
行かれなくて残念ですが又再会出来る日を楽しみにしています。

**進藤　美男**
商用のため欠席致します。役員の方いつもご苦労さま。

**菅原　正雄**
同じ職場で勤務していた東京美唄会副会長西根幸夫さんの死亡は残念でした。葬儀でのご家族のかなしみは忘れられません美唄で住んだものは力を合わせて頑張って行きましょう。

**鈴木　信男**
幹事ご苦労さまです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**鈴木　俊子**
30余年居住の市営マンションも内装しました。少しは見られるようになりました。
還暦を迎えます。のんびりゆっくりと生きていきます。足をくじいてしまいました。皆さんも家の中整理整頓をしましょう。

**相馬　順子**
遅くなって申し訳ありません。よろしくお願い致します。

**高田　禮嘉**
具合が悪く出席できません。盛会を祈ります。

**但野　隆子**
主人がお世話になりました。主人の1回忌法要のため欠席します。皆様によろしくお伝え下さい。

**千葉　勝友**
キングレコードより12月10日に「思い出のふるさと美唄」が発売になりました。
なつかしい青春時代の山々を思い浮かべふるさとの恋しさを詩にたくしてみました。私のささやかな近況です。

**廿楽　美登利**
2月14日より写真展をします。都合をつけて何とか出席させていただきたいと思います。

**寺井　勇吉**
東京美唄会会報興味をもって読みました。3面の「松花江」4面の「凧と大橋」「ピパの湯」は美唄を知る記事として楽しめました。
2面「美唄市自立のシナリオ」は美唄市が市町村合併をせずに自立の道を選択したのは心強い限りです。が施策として期待できるものがないように思われ心配です。豊かなまちづくりでよい施策があればいいのですが…。

**長尾　剛義**
昨年7月美唄に行き常盤台まで行ってきました。石炭がありびっくりしました。美唄を離れて37年目。皆さん頑張ってください。

**永田　勇一**
よろしくお願い致します。

**中村　勝美**
平成15年8月15日家内が亡くなり現在一人暮しをして居ります。一人になって家内の有難さが身に沁みて居ります。
元気を出して美唄会に出席して皆様にお逢い致したいと思っております。

**中山　道夫**
総会の盛会とご参加各位のご健勝をご祈念致します。体調不良のため欠席致します。

**西根　智子**
主人が長い間お世話になりまして本当に有難うございました。楽しい思い出が沢山ありました事厚く御礼申し上げます。
皆様のご健康をお祈り致します。

**沼田　道雄・寿枝**
総会の御盛会と会員各位の益々のご健勝をお祈りいたします。

**播磨　隆俊**
小生初めての案内を受け出席します。宜しく。

**樋口　謙次郎**
家庭の都合により今回は残念ながら欠席させていただきます。来年は是非出席したいと思っています。

**藤澤　陽二**
出席率は良い方だと自負しておりましたが21回になろうとは…。
老齢（とし）をとりましたが元気の内は懐かしい故郷の皆様と楽しく歓談したいと思っています。

**堀米　景子**
今年も楽しみにしております。

**本多　傳兵衛**
現役で頑張っております。

**三浦　武美**
第21回総会の盛会を祈ります（初代事務局長）

**宮崎　光子**
昨年に続き今年も出席出来ず残念です。昨秋美唄ゆーりん館にてクラス会をして楽しんできました。

**遊佐　孝雄**
幹事の皆さまほんとうにご苦労さまです。私は元気にエヴリディサンデーの生活を過ごしております。

**吉岡　稔・時**
ご案内に感謝しています。初代東京事務所長として会の設立に奔走し、昭和60年2月27日専修大学において第1回大会を開催した当時を懐かしく思い出しています。皆様によろしくご風声の程を。

**吉見　昭徳**
「東京美唄会」（34号）興味深く読ませていただいております。いろいろとご苦労さまです。ありがとうございました。

## 「炭坑生活は私の財産　人間のやさしさを教えてくれた」

**今日はどうぞよろしくお願いします。まず、どのような縁で三井美唄炭鉱に勤めることになったのかから伺います。**

昭和17年1月叔父に連れられて、日本の領土だった樺太（現サハリン）の三井川上炭鉱に働きに行ったのが初めての経験でした。

昭和19年赤紙が来て、岐阜県にあった航空隊に入隊しそこで終戦を迎えたのです。しかし、樺太には戻れず11月から三井砂川炭鉱で働き始めたのですが、翌年4月夕張の炭鉱へ行くことに決めました。

敗戦直後の混乱期、汽車の乗車券はとても入手できる状況ではなく歩いて美唄まで来て一泊しました。旅館の主人に、「わざわざ夕張まで行くことはない　三井美唄炭鉱で働いては」と強く勧められ、ここに落ち着いたのは昭和21年4月のことでした。

それから38年7月の閉山まで勤め、その後第二会社の三美鉱業でも48年の閉山まで坑内採炭夫一筋に働き続け、ここで坑夫生活を終えました。

**採炭現場（切羽）の様子をお聞かせ下さい。**

言葉で説明するのは非常にむずかしいですね。一瞬の油断が命取りになる処が切羽です。炭層を長さ80mおきに坑道で切り、幅1.2m高さ1.5mほどの層をダイナマイトで崩しながら掘り進んで行く。石炭を掘ったあとに「山固め」といって1.5mくらいの間隔で丸太を立て天井が落ちないようにする（昭和27年ころから鉄柱に代った）。崩れた石炭をコンベーヤーに積む。皆顔も手も真っ黒く、炭塵が汗と一緒になっている。真っ暗闇の中で明かりは坑内帽に取り付けた安全灯だけだ。

崩落の危険は常にあるから、四方に気を配りながらの作業である。一番方の作業は朝7時に始まるが、ちてきたが、危機一髪難をのがれた人もいた。

また、採炭の最中に大玉石にぶつかり、処理に数時間かかったこともあった。当然その日の出炭量が少なくなる。その結果私たちの収入も減る。何故なら、採炭作業は「請負制」で行われていたからです。

一番方の作業は午後1時すぎに終る。危険なだけに一般の人より労働時間は短かい。二番方の採炭夫は午後3時から夜10時ころまで。三番方は真夜中の勤務で、採炭さ

**幾年ぞ時の流れは消え去るも**
**炭坑の思い出だけは　生きて流れる**

永井幸一郎さんは大正13年、秋田県で生れ、30年以上切羽（採炭現場）で、文字通り命がけで採炭一筋の人生を過された。美唄市郷土資料館で長時間貴重な体験談を伺うことが出来た。私事ながら、私の父と海釣りを楽しんだ話は望外の喜びだった。

（編集部　武田）

平成14年9月 撮影

34人くらいの採炭夫が「ロング長」と呼ばれる責任者を中心に一丸となって各人の役割を分担する。誰もが死と隣り合わせている仕事だから、ミスは許されない。一瞬のためらいが死を招くことだってある。

私は29歳でロング長になり、「鬼の永井」と呼ばれていましたが、30余人の永井組から死傷者を出すわけにはいかないから、大声を張り上げることも時にはあった。炭層には石炭ばかりではなく、直径1m以上の玉石が含まれていることもある。こんなのが天井から落れたあとの充填作業に従事する。（三番方は請負ではない）

このような切羽が三井美唄には、6本あったのです。

入坑する時、20分ほど人車に乗って行く。その間話し声は全く聞こえない。皆不安で一杯であり、今日も無事に終りますようにと祈るような気持でいるのです。ところが帰りの人車では、緊張感から一気に解放され子供みたいに大声張り上げはしゃぐ。これの繰り返しでしたね。

**こんな危険な仕事をやめて安全な職につくことは考えませんでしたか。**

もちろん、坑内事故が起こるたびに、何度もやめようと思った。仲間が死んだとなると、ヤマ全体が重苦しい悲しみに包まれ働く意欲が無くなってしまうのです。

女房と相談しては、結局このヤマより良い稼ぎどこねという結論に至り、このヤマに居座り続けたのが現実です。

**ヤマの生活のどんなところが魅力だったのでしょうか。**

一言でいえば、〝豊かな人間関係〟ということに尽きるでしょう。坑内労働の厳しさとは正反対に日常生活はなごやかそのものでした。

夕食の時、隣の家からいい匂いが漂って来る。「いい匂いがするなあ。サンマ焼いてるのかい」「そうだよ」。お互い姿は見えなくても、こんな会話が自然にできたのです。

不幸があれば近所中の人達が手伝いに集まり、遺族の力になった。お祭り、お盆、正月には隣り近所が家族ぐるみで一軒の家に集まり大騒ぎで楽しく喜び合う。

こんな生活から人の和や信頼感が知らず知らずに生れる。子供にとって最高の人間教育になったと思います。人は一人では生きられないのだと。

現在でも毎年1回、同じ切羽で苦労を共にした仲間が東京や九州からも労働会館（旧厚生館）に集まり、夜が明けるのも知らず昔話に花を咲かせています。

これが私の最大の喜びであり、元気の源になっています。

**最後に、永井さんが出演された映画『闇を掘る』について伺いたいと思います。**

平成14年6月ハンガリーで開催された国際映画祭でドキュメンタリー映画グランプリ副賞（2位）を獲得したと、監督の藤本さんから便りがあり、大変喜んでおられました。

完成するまで3年間、関係者は南美唄に滞在していたのです。平成13年3月、封切りの前に美唄で上映され、すごい数の人が集った。三井美唄も撮影されはしたが編集の時カットされてしまった。カット部分は記念にと私にくれました、無声ですが。その他にこの映画のフィルムも1本（上映時間は1時間40分）プレゼントされました。

この年齢になって炭鉱の映画に出られたのは最高の幸せですね。お陰で旧三井川上炭鉱（現南サハリン炭鉱）にも行かれました。私がいた頃、約千人の日本人と強制連行で連れてこられた朝鮮の人たち約四百人が働いていたのです。朝鮮の人たちは気の毒に祖国に帰れず今も残留しています。

李さんという方が日本人墓地のあった場所に案内してくれました、すっかり山に戻っていましたが。私の育ての親である祖母がこの地で昭和23年に亡くなっているのです。仮のお墓を作りお参りして来ました。長年の胸のつかえがスッとおりましたよ、供養ができたお陰で。

**約3時間もの間快く実に多くの話題を取り上げて下さったが、文章化できたのはほんの一部。永井さんには申し訳ないのですが、了承して頂いた。ありがとうございました。**

# みんなの心で守りたい アルテピアッツァ美唄

事務局　前山　勇治

「彫刻作品から、いろいろなことが浮かんできます。すごいと思った」「すてきな施設ですね。美唄の方がうらやましい」「美唄に住むものとしては、たくさんの人たちがこの芸術広場に訪ねてくれてうれしく思う」「札幌から何回も訪れますが、その度に、前回と違う感動に浸ることができ、大好きな空間です」「廃校舎が再び見事に生き返り、卒業生として感激です」「毎年お盆に帰ります。炭鉱の面影はほとんどなくなったけれど、この空間が心のふるさととしていつまでも残っていてほしい」などなど・・・。

これらのことばは、ここアルテピアッツァ美唄の一角に備えてある『ひとこと感想ノート』に記された来訪者の思いの中からその一部を紹介したものです。

「アルテピアッツァ」はイタリア語です。英語では「アートプラザ」といい、日本語では「芸術広場」と訳すことができます。広さは七ヘクタールあまりに及びます。

この空間は、主にイタリア白大理石を素材にしている昭和二〇（一九四五）年地元美唄生まれの彫刻家安田侃氏がプロデュースし、美唄市とともに創りあげてきたところです。安田氏は昭和四十五（一九七〇）年に渡伊し、昭和四十七（一九七二）年に北伊のピエトラサンタの工房をアトリエとして得た後、そこを制作活動拠点とし現在に至っています。いまや世界的な評価を受ける彫刻家として活躍しています。

施設「アルテピアッツァ美唄」は、国道十二号線から東側に五、三km（ＪＲ美唄駅からはおよそ六km）離れた落合町栄町に位置しています。

昭和二十一（一九四六）年に、美唄町立我路小学校から独立認可開校した盤の沢小学校（昭和二十五年に栄小学校と改称）の跡地を利活用して設置したところです。当時隆盛期にありました石炭産業に従事していた労働者の子ども達が通い、ピークには一、二五〇名を数えた三線型の小学校でしたが、昭和四十八（一九七三）年の最後の閉山とともに児童数が激減し、昭和五十六（一九八一）年三月に閉校されました。その跡に、同地内別舎にありました栄幼稚園が移設され現在のＬ字型校舎として残され、体育館は地域のレクリエーション施設として利活用されておりました。

昭和六〇年代に入り、安田氏は、生まれ故郷の美唄に自分の作品展示場を模索し始めました。そのころ新たな活性化事業を検討していた美唄市と思いが重なり現在地に定まりました。平成三（一九九一）年に旧体育館を改修してアートスペース誕生、平成四（一九九二）年にオープンされ、その後一歩一歩着実に施設の充実を進め、今年で十五年目になります。屋内外に四十一点の安田作品が展示されています。平成十五（二〇〇三）年六月に当施設と北海道立近代美術館で同時開催した個展『安田侃の世界―天にむすび、地をつなぐ』と、同じ年の『天皇皇后両陛下ご行幸』の栄と相まって知名度が一躍全国一区施設として注目されるようになり、今も全国各地から年間二万～三万人を超える来訪者に愛される空間になっております。

ここは、小高い山に囲まれた彩り豊かでのどかな自然が四季に移ろう静寂な世界に、往時の歴史を今にとどめる赤い屋根の木造校舎と体育館、広い芝生に白い大理石彫刻と黒いブロンズ群が調和よく配置され、白く澄んだ池とせせらぎが聞こえる小川等と見事にマッチングした空間を創り出しています。訪れる人たちをやさしく抱き、彫刻と対話することを通して、自分を見つめ直すひとときをもたらしています。さらには、何のてらいもなく元気に走り回る園児の声や姿が響き合い行き交う様子から、清らかな純粋さや生きる躍動感を味合わせてもらえる空間でもあります。校舎二階は、当施設の事務所ならびに安田氏の小作品（一部一階にも）展示スペースと市内外作家の個展やグループ展会場として利用され、安田彫刻が同居する旧体育館のアートスペースは、コンサートや演劇・文化講演会等の催しが展開され文化活動を中心としたまちづくりに大きく寄与しています。

美唄の炭鉱施設並びに炭鉱住宅の多くが、閉山と同時に解体されたこともあり当時を偲ぶ手掛かりが少ないことは残念なことです。そんな中にあって、炭鉱に深い関わりのある歴史をもつこのアルテピアッツァ美唄が、往時を語り継ぐ一翼を担っていると思います。また、この地を離れた皆様にとっては、それぞれの「心のふるさと」として宿り続き、今後も末永く親しまれ愛される空間になることと信じています。

市の財政問題から、当施設の維持管理保全をめざす別組織の構築が検討されてきた結果、平成十七（二〇〇五）年四月に『特定非営利活動（ＮＰＯ）法人アルテピアッツァびばい』が誕生し、この九月に法人登記完了、正式にスタートしました。目的は「このかけがえのない空間を守り後世まで引継ぎ、さらに充実した場となるように活動していくための役割を担うこと」を掲げ、その達成に向けた諸活動を積極的に展開しています。世界的に見ても、公的な施設としてこの時代に生存している一人のアーティストの作品だけを集めた美術空間は極めて珍しいともいわれているところですから、しっかりと保全管理に責任を持った運営に心掛けたいと決意しています。

ＮＰＯ法人スタート年である今年（二〇〇五）年は、アルテピアッツァを語る市民の会を五回、アルテをきれいにする（ゴミや小枝拾い・落ち葉集め・径を直す）クリーン会四回、大理玉石洗い一回、浪曲師国本武春独演会や心のふるさとアルテ祭りのイベント二回というように各種事業を展開し、それぞれ成果をあげることができました。

また、当法人の活動と財源を支えていただく会員入会の働き掛けにも努力しました。九月末現在で、三四七個人・法人の皆様に加入していただきました。会費は、正会員（年会費一口三千円）法人団体会員（年会費一口三万円）子ども会員（年会費一口五百円）サポート会員（随時一口千円）としています。非営利団体ですが、活動資金として会費に加え寄付金等で運営するため、当法人関係者は、多くの人たちの理解と温かい支援の要請活動を熱心に取り組んでいます。私も事務局を担当する一人として、微力でありますが活動の充実と発展をめざして多くの皆様に深いご縁をいただけるよう日々取り組みを進めております。皆様の心からの熱烈ご支援をお願い申し上げる次第です。

東京美唄会会員の皆様、まだお見えになっていない方は、ご家族ならびに知人の方とご一緒にぜひご来訪ください。必ずご満足いただけることと確信しております。一度お出でになられた方も、再来をお待ちしております。新たな発見や感慨に浸っていただくことができると思います。そして、この空間を守るためのご意見などを直接お聞かせいただければとの期待を抱きつつお待ちしております。

開　館…一年間通して九時から十七時
休館日…毎週火曜日　祝日の翌日
　　十二月三十一日～一月五日
入館料…無料

～アクセス～
ＴｅＬ…０１２６－６３－３１３７
ＨＰ…http://www.kan-yasuda.co.jp/
ブログ…http://npoarte.blog.ocn.ne.jp/
E-mail…arte@fancy.ocn.ne.jp

## 出版のお知らせ　廿楽 美登利

昨年十月、新に二冊の本をグラフ社から出版することが出来ました。

一冊は〝五十歳からの挑戦〟五十歳で始めて写真に出会ってから、一応、写真家となる迄の私の歩みをエッセイ風に書かせて頂きました。

今の世の中、その気になりさえすれば、何かを始めるのに遅すぎるということはない筈だと思うのです。

〝もう年だから〟などと諦めていらっしゃる方や、定年後、どうしようかと迷っていらっしゃる方に是非読んで頂けたらと思います。

又、現在子育ての最中で、自分だけが取り残されていくのではないかと焦っていらっしゃる若いお母さまにも読んで頂き度いのです。そしてこう申し上げ度いのです。

「今を大切に！お子様をしっかり、自立出来る人間に育てて下さい。それからでも大丈夫、間に合いますよ」と。

私が生まれたのは大牟田。けれど中学時代を過した美唄は私の第二の故里です。ほんの少しですが、美唄への思いも書かせて頂きました。

もう一冊は、〝星の王子さま〟の新訳本、大学時代の同級生で立命館大学の名誉教授川上勉氏との共訳です。

題名を〝プチ・プランス〟とし、大人の為に訳しました。巻末にはフランス語全文を付けてあります。又、キーワードとなる幾つかの言葉も解説し、添えました。

物語の最後に、王子は、自分の小さな星に残して来た〝薔薇の花〟に〝責任がある〟と悟り生命を賭けて戻るのですが、この本は、私達に、人生で何が一番大切なのかを教えてくれているような気がします。

北・生ラーめん
～「美味いが基本」の地方発送生ラーメン～
送られた人より大好評を頂いている北海道ラーメンです。麺は北海道産の小麦を使用し、低温熟成により金色に輝いたちじれ麺。ツルツル感と腰の強さはオリジナルのスープにベストマッチ！お中元・お歳暮・贈り物・景品などにご利用下さい。
かどや
代表取締役　高橋　武俊（美唄東高・５期生）
〒072-0031 北海道美唄市西２条北１丁目2-3
TEL 0126-62-7321 FAX 0126-63-2774

天皇皇后両陛下
行幸啓　献上銘菓
くるみ餅
美唄特産の菓子クルミを使った歴史ある銘菓
長栄堂
美唄市大通り東１条南１丁目
TEL　0126-63-2011